



風っ子・環境キャンペーン



パンジーの移植を終えた花壇を前に環境委員会のメンバーと担当の小林宏行先生(後列左)

昭和村 ボランティアも大活躍 みんなで植えたパンジー

昭和村立大河原小学校

昭和村立大河原小学校(糸井)は、色とりどりの季節の花が咲くきれいな学校です。

同校では、春に200株のベコニア、秋に400株のパンジーを購入。初夏にはマリーゴールドを種から育てて花壇やプランターに植えています。

今年度は昨年11月中旬、環境委員会の7人がポットに入ったパンジーの苗を花壇とプランターに植え替えました。全体の色やバランス、育ったときの大きさを考えながら、株と株の間が20センチほど空くように並べます。

これでよし、となった先に植えた株を傷めないよう、端の方から植えていきます。

このとき校長先生が、根付きやすくなる2つの秘訣を教えてくださいました。ひとつは、植える前、ポットの内側に澆水を巻くように伸びている根を軽くほぐすことです。もうひとつは、植えた後、根本を両手の手のひらで軽く押すことです。こうすることで、根と土が馴染みやすくなるそうです。

翌日からは当番を組んで水やりをします。もっと寒くなると卒業式の花道を飾る30個のプランターは、温室に移して育てます。うれしいのは、6年生を中心に10数人のボランティアが協



端から手際よくパンジーの苗を植えています

力してくれること。みんなのやさしい気持ちできれいな花を咲かせます。

「水やりは大変だけれど、花を植えるのは楽しい」と話すのは副委員長の林利友希さん(6年)。委員長の栗原恵(同)さんは「花を育てる面白さを知り、家では祖母の庭仕事を手伝うようになりました」とこやかに話していました。



パンジーが育つのが楽しみだね

群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」許諾第2019-110878号

昭和村立大河原小学校

林徹志校長 77人
利根郡昭和村糸井5455-354
http://ookawara-es.kir.jp/
Mail ookawara-es@kagoya.net

「進んで学習する子、思いやりのある子、たくましい子」を目標に児童・教職員・地域が一丸となって取り組んでいます。

身近にできるエコ活動

湯たんぽを使ってみましょう。

みなさんは、湯たんぽを使ったことがありますか?湯たんぽは、布団の中を効果的に温めてくれる優れたものです。寒い冬にぴったりの湯たんぽは、「エコ」な商品でもあります。寝ているときに部屋を暖めようとして、ずっと暖房をつけているのは、環境によくありませんね。そんなときにぴったりののが、湯たんぽです。湯たんぽは、お湯だけで約6時間も布団の中を暖めてくれます。また、湯たんぽで使ったお湯は、洗い物などに再利用することもできます。今年の冬は、湯たんぽを使ってみませんか?

群馬県環境サポートセンター

風っ子・環境キャンペーン協賛社

(順不同)

トヨタ モビリティパーツ株式会社 群馬支社

Honda Cars 群馬

KADOYA 角屋工業株式会社

日産サテリオ群馬

富士スバル

Uキューケーホーム(株)浦野建設

ニューサンピア

JA全農ぐんま

群馬トヨペット

カネコ種苗株式会社

上武印刷株式会社

トヨタレンタリース群馬

総合住宅展示場 上毛新聞マイホームプラザ